

自然共生の智慧の再興・発展



美しい自然: 日本を代表する国立公園の大自然の風景から里地里山が織りなす日本人の原風景まで

自然体験の推進・積極的な情報発信・受け入れ態勢の整備・アジア諸国に対する技術支援等

「美しい日本の自然」の再発見／アジア・海外への発信

次期世界目標の設定に向けたリーダーシップの発揮

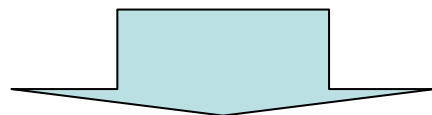


○2010年目標の達成は困難

GBO(Global Biodiversity Outlook(2006年))によれば、目標達成は厳しい状況

※2010年目標：2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる

※GBO：生物多様性条約事務局が世界の生物多様性の状況を15の指標を用いて評価したもの



・2010年の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の日本招致を契機とし、先駆的な取組を地球的な視野のもとに行うとともに、COP10で採択される次期世界目標の設定に向けた議論をリード

・我が国の生物多様性総合評価(Japan Biodiversity Outlook; JBO)と生態系総合監視の実施

・サンゴ礁保全や渡り鳥保全などの国際的ネットワークの構築

・生物多様性の重要性について国民の理解を得るための「いきものにぎわいプロジェクト」の展開



生物多様性条約第8回締約国会議

百年先を見通した我が国の生物多様性の保全

- ・第3次生物多様性国家戦略において、100年先の生物多様性の将来像を「グランドデザイン」(共通のビジョン)として提示
- ・優れた自然環境をつなぐ生態系ネットワーク構想の推進
- ・未来に引き継ぐ重要な里地里山、新たな利活用方策(バイオマス・環境教育など)の検討、多様な主体による新たなコモンズ(共有の資源)の構築
- ・農林水産業における生物多様性保全の総合戦略の策定

生態系ネットワーク構想

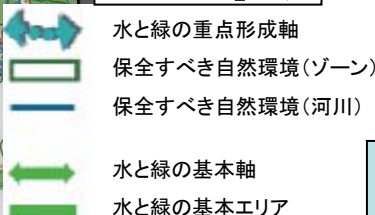
流域圏を基軸として森林、農地、河川、海洋等を連続した空間として積極的に保全

国土スケールのネットワーク



地域スケール

「首都圏の都市環境インフラのグランドデザイン」より



未来に引き継ぐ里地里山



国土の4割を占める里地里山は、人間の生活と生産活動を通じて形成された、モザイク的な土地利用(空間)により構成されており、多様な生き物を育む場



新たなコモンズの構築

都市住民・NPO・企業等

3Rとは、ごみを減らし(Reduce)、使えるものは繰り返し使い(Reuse)、
ごみになったら資源として再利用(Recycle)する取組

アジアでの循環型社会構築に向けた取組

国際的な循環型社会を構築するために、

- ① まず各国の国内で循環型社会を構築し、
- ② 廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し
- ③ その上で循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

- ◆ 日本の3R・廃棄物管理の先進的な制度、優れた技術・システム、各主体の取組と連携の経験を各国に発信
- ◆ 3Rの情報拠点の構築
- ◆ 「東アジア循環型社会ビジョン」の策定



3Rの技術とシステムの高度化

日本の3Rの技術・システムに更に磨きをかけるために、

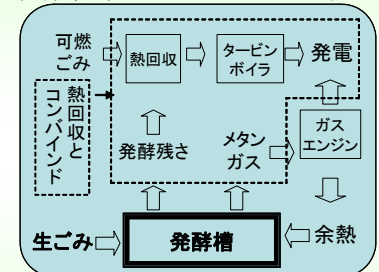
- ◆ 製品のライフサイクル全体での天然資源等投入量・環境負荷の最小化
- ◆ バイオマス重視の「地域循環圏」の形成、地域での循環が困難な物質について、広域・国際的な資源循環3Rの情報拠点の構築
- ◆ ごみ処理の有料化など、「もったいない」の気持ちを活かす社会経済システム

3Rを通じた地球温暖化対策への貢献

3Rを通じて温室効果ガスを削減すべく、

- ◆ 廃棄物発電の促進など、廃棄物からのエネルギー回収の徹底
- ◆ 廃木材や生ごみからのエタノール生産など、廃棄物系バイオマスの有効活用

廃棄物系バイオマスからのメタン回収



日本提唱の3Rイニシアティブの推進

2004年6月 G8シーアイランドサミット(米国)
3Rの国際的な推進を図る「3Rイニシアティブ」を日本が提案し、各国首脳が合意。

2005年4月 3Rイニシアティブ閣僚会合(東京)

2006年3月 3R高級事務レベル会合(東京)

2006年7月 G8サンクトペテルブルクサミット(ロシア)
3Rイニシアティブを更に進めるために、G8各国が、資源生産性を考慮した目標を適宜設定することに合意。

2007年10月 3R高級事務レベル会合(ドイツ・ボン)

2008年 G8環境大臣会合(神戸)

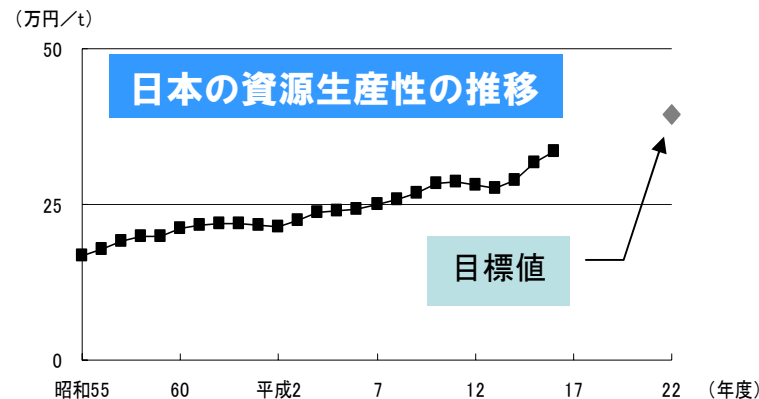
2008年のG8北海道洞爺湖サミットに向け、G8各国が資源生産性の目標を設定し定期的にレビューするなど、G8における3R推進方策を日本が提案。

さらに、UNEP「天然資源の持続可能な利用に関するパネル」やOECDの関連作業を支援

日本は他国に先駆けて資源生産性の目標を既に設定

$$\text{資源生産性} = \text{GDP} / \text{天然資源等投入量}$$

資源生産性は、産業活動や人々の暮らしがモノを有効に利用しているかを総合的に表す指標。少ない資源の投入で効率的にGDPを生み出すよう、増加が望まれる。



循環基本計画(平成15年3月閣議決定)の目標値:2010年度に約39万円/t(2000年度から概ね4割向上)

日本の資源生産性は世界トップレベル

日本がG8の先頭に立って3Rを推進